

携帯TV電話／無線LANと地域情報ハイウェイを活用した地域医療支援システムの研究開発

研究目的

テレビ電話機能付携帯電話－テレビ会議システム間の映像通信を用いて、リアルタイムで精密な在宅医療・地域医療への遠隔医療支援を円滑に行うために必要な機器開発を行う。それらを用いて岡山情報ハイウェイと地域情報ネットワーク網の上で実証的な検討を行うことで、遠隔医療システムに必要な機器及びネットワークの要件を明確にし、さらにこのような遠隔医療支援の有用性を明らかにする。

研究方法

映像通信の高速化・低価格化及びテレビ電話機能付携帯電話内蔵カメラの遠隔操作のために、携帯電話機の無線LANインタフェース(携帯電話と無線LANとの通信を可能にする補助装置)を新規開発し、携帯電話網とインターネット網の2つの通信路を併用した遠隔医療支援を行う。さらにこれらを統合したテレビ会議システムを開発しその遠隔医療における意義を明らかにする。

テレビ電話機能付携帯電話は訪問看護師や在宅介護者が用い、リアルタイムに医師等との相談を行うほか、必要に応じて患者宅などで録画した映像を用いて、テレビ会議上での遠隔医療カンファレンスを行う。この録画映像の円滑な伝送のために無線LANによる高速通信網を要する。

携帯電話網と岡山情報ハイウェイとをつなぐ変換装置は今回導入し、多地点会議装置は岡山県設備を利用

